



信頼・団結・前進

=新たな時代にさらなる挑戦=

# くまもと

発行 九州旅客鉄道労働組合  
熊本地方本部  
熊本市中央区南熊本3丁目14番1号  
電話 NTT 096-373-8911  
JR 094-2345  
発行責任者 濱田 享 二  
編集責任者 瀬戸口 貴 史  
教育広報部

## 順調に進捗する復旧工事



阿蘇大橋東側から見た現場【2020年3月6日】

写真は阿蘇大橋東側より写したものです。山の中腹から下部は何重にも土留盛土が施工され、写真中央部に豊肥本線が通っているのが見えます。小さくて確認しづらいですが、数台の軌陸車とコンクリート製枕木のようなものもありました。なお、復旧工事の進捗状況は国土交通省九州地方整備局のHPでも閲覧できます。

線西九州ルート、FGT保、設備関係、九州新幹転再開、乗務員の人員確保、設備関係、九州新幹

同計画は、改正鉄道軌道整備法に基づく復旧費補助を受ける際に必要になります。県と沿線8市町村の意見を踏まえながら策定したとのこと。これを受けて今年16日付で国土交通大臣より補助金決定通知を受けています。

計画概要には、訪日外国人にむけた阿蘇の魅力

## 豊肥本線復旧へ

会社は、3月24日、熊本地震で被災して不通が続いている豊肥本線肥後大津・阿蘇駅間の復旧後の収支改善策などを盛り込んだ「長期運行計画」の概要を発表しました。これによって、豊肥本線に対する国による復旧費補助が決定しています。

# 長期運行計画の概要発表

客、県が進める空港アクセス鉄道の開業による収入増なども見込んでいます。

同区間の復旧を巡っては昨年4月に石井啓一国土交通大臣（当時）が2020年度中の運転再開を発表していますが、青柳社長も熊本日日新聞の

## 第27回地本委員会

# 当面の活動方針を確認

熊本地本は、3月8日、熊本市「くまもと森都心プラザ」で第27回地本委員会を開催しました。当

日は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、出席する執行部及び地本委員の数を制限するなど開催規模を縮小するとともに、出席者に体温確認や手洗い・うがいの徹底を呼びかける中での開催となりました。



各分会で作成した檄布を中央本部の芦原書記長に手渡し、春闘交渉を激励しました

議事では、執行部の経過報告、活動方針案、暫定予算案の提起に対して、4人の地本委員から電気関係業務効率化、2020春闘、高齢者の処遇改善、豊肥本線の運転再開、乗務員の人員確保、設備関係、九州新幹

取材に対して「今秋を目指して頑張りたい」と時期について言及するなど、運転再開の前倒しも考えられます。

今回の計画提出と補助金決定が運転再開にむけた大きな後押しとなることは間違いありません。

熊本地本は、運転再開にむけた課題の抽出と解決の取り組みを今後とも継続していきます。

## 加入者募集中

**JR私傷病共済**  
**變星浩彦様済「あんしん切符」**

私傷病で欠勤した場合に傷病見舞金を給付  
不妊治療や出産祝金の給付もあります  
本人に万が一（死亡）のことがあった場合に給付  
重い障害状態になった時も給付があります

加入希望やお問い合わせは  
分会役員または地本まで

## 地本レクリエーション 潮干狩り

今年もやります！  
日時：2020年5月17日(日)11時から  
場所：長浜海岸「清風館」(宇土市)  
【JR三角線・肥後長浜駅下車すぐ】  
参加費：1,000円(但し、小学生未満は無料)  
参加ご希望の方は分会役員または地本までお知らせください

